

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-2-3		事業名	ベンチャー支援事業
担当	経済局産業振興部新産業担当課新産業担当係 藤原 薫 Tel 211-2379			
全 体 計 画				
事業内容	○ベンチャー支援事業 優れたビジネスモデルや大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図るベンチャー企業を創出・育成していくために、市内において経営等の専門的なノウハウを十分有し、札幌の新産業創出に熱意のある民間の企業支援者等をメンバーとした支援協議会を組織し、起業家の円滑な創業・新事業展開を支援する。また、ベンチャー支援事業の卒業生間のネットワーク構築などフォローアップ事業も行う。 ○スキルエンジェル制度の活用・人材発掘業務 札幌のバイオを中心としたベンチャー企業の特徴として、素晴らしい素材、研究者を有するものの、経営力のある人材がいないこと、販路・マーケティング能力に欠けることなどの課題を抱えている企業が多い。ベンチャー支援事業と並行し、様々なステージにおける人的支援を充実させることで、その課題の解決を図る。本市単独事業ではなく、北海道経済産業局の登録人材も利活用する。		<年度別の事業内容>	
			○平成19年度 新規案件3件、継続案件4件に対して、経営支援を行った。 ○平成20年度～平成22年度 引き続き年間6件程度（新規案件3件、継続案件3件）を目安に、支援を継続する。	
事業内容	平成19年度事業内容（決算）		平成20年度事業内容（決算）	
	○ベンチャー支援事業 新規案件3件、継続案件4件につき、新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業を創出・育成していくために、起業家の円滑な創業・事業展開を支援した。具体的には下記のとおり。 ・環境に優しく、かつ効率的な融雪システムサービスを提供するエコ融雪リモコンシステム事業。 ・北海道の良質な商品を、独自の販促方法により道外の消費者に販売する通販モデル事業。 ・特別仕様の厨房車にて、本格的な西洋料理を提供するケータリングサービス事業。 ・IT・医療等の分野で活用されるクリーンルームについて、さらに極限まで高洗浄化された商品を提供する事業。 ・主に地域中小企業を対象に、インターネットを通じて新たな商流を開拓するインターネットマーケティング事業。 ・主婦ネットワークによる、北海道食材を使った加工品の企画開発・販売事業。 ・北海道大学発の技術「高強度ゲル」の実用化と、その応用開発事業		○ベンチャー支援事業 新規案件3件、継続案件3件につき、新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業を創出・育成していくために、起業家・ベンチャー企業の円滑な創業・事業展開を支援した。具体的には下記のとおり。 ・マイクロ領域での科学状態、電気特性が観察・測定できるケミカル顕微鏡の操作ソフトを開発・販売 ・高級使用に改造した貸切マイクロバスでの道内観光サービス ・液中プラズマ放電の手法を用いて高品質な合金等ナノボールを開発・事業化 ・環境に優しく、かつ効率的な融雪システムサービスを提供するエコ融雪リモコンシステム事業 ・北海道の良質な商品を、独自の販促方法により道外の消費者に販売する通販モデル事業 ・特別仕様の厨房車にて、本格的な西洋料理を提供するケータリングサービス事業 ○スキルエンジェル制度の活用・人材発掘業務 ベンチャー企業の活動を支援するため、北海道経済産業局の登録人材等の経営支援人材を活用し、本事業や企業連携構築事業さらには他機関の事業を効果的に実施した。	
事業内容	平成21年度事業内容（決算）		平成22年度事業内容（予算）	
	○ベンチャー支援事業 新規案件3件、継続案件3件につき、新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業を創出・育成していくために、起業家・ベンチャー企業の円滑な創業・事業展開を支援した。具体的には下記のとおり。 ・糖鎖構造プロファイリング技術の開発、製造、販売及び輸入 ・老化関連疾患に対する医療用シーズプロデュース事業 ・マルキタブランドの強化による道内一次産品の高付加価値化 ・マイクロ領域での科学状態、電気特性が観察・測定できるケミカル顕微鏡の操作ソフトを開発・販売 ・高級使用に改造した貸切マイクロバスでの道内観光サービス ・液中プラズマ放電の手法を用いて高品質な合金等ナノボールを開発・事業化		○ベンチャー支援事業 引き続き新規案件3件、継続案件3件につき、新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業を創出・育成していくために、起業家・ベンチャー企業の円滑な創業・事業展開を支援する。	
事業数等				

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-2-3		事業名	ベンチャー支援事業		
達成目標の状況						
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
支援対象件数(累計)	16件	19件	22件	25件	28件	26件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
■市民との連携、市民参加 有識者で構成する支援メンバーによる意見を踏まえてベンチャー支援事業の支援対象者を選定・実施している。 ■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]企業等の有識者で構成する支援メンバーより企業選定・支援について連携をとっている [情報協力]大学・関係団体より有望なベンチャー企業・個人について情報提供をうけている [その他の協力](該当なし) ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 個別に大学・関係機関に情報を提供し、公募により支援対象者を広く呼びかけることにより、企業がより参加しやすい環境を作っている。						
評 価 (成 果)			課 題			
札幌で芽を出しつつある有望なベンチャー企業等に対して、経営戦略や販売戦略の策定などの経営ノウハウ等を提供することにより、円滑に事業を展開させるなど、その成長を促すことが出来た。具体的には、経営等の専門的なノウハウを十分有し、札幌の新産業創出に熱意のある民間の企業支援者を通じて、事業化に向けた研究開発体制の構築や、知的財産等の整理、展示会出展やマスコミを使用したの効果的なPR等を実施した。また、支援終了企業を含めたネットワーク交流会を開催することにより、企業間連携の構築を図ることができた。			本事業は創業時点もしくは起業間もない期間に円滑な起業・事業展開が図れるよう支援するものであるが、企業が成長していく中では、その後の資金調達、ネットワーク構築や販路といった問題が多く存在する。こういったベンチャー企業が抱える問題を解決するため、本事業単独ではなく、「札幌元気ファンド」「札幌元気チャレンジファンド」、「企業連携構築事業」「新産業育成推進事業」など本市の他の支援メニューを効果的に活用し、より効率的な企業支援を実施していく必要がある。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
成長可能なベンチャー企業を多く育てていくため、さらに多くのベンチャー企業に支援を実施していくとともに、事業終了後も支援終了企業間のネットワークを有効に活用しつつ、これまで培ってきた本市の経営支援人材ネットワークや他の支援制度等も活用しながら、フォローアップを行っていく。						

施策体系コード		2-2-3		事業名		ベンチャー支援事業	
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	44,081	49,973	49,973	49,973	194,000	
	財源内訳	国・道支出金					0
		市債					0
		その他					0
		一般財源	44,081	49,973	49,973	49,973	194,000
予算	事業費	44,081	35,613	31,080	19,400	130,174	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	44,081	35,613	31,080	19,400	130,174
実績	事業費	41,249	32,215	29,421	—	102,885	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0
		市債	0	0	0		0
		その他	0	0	0		0
		一般財源	41,249	32,215	29,421		102,885
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					63.0%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度] 継続案件1件にき、当初より早く自立することが可能となったため、減額。							
[20年度][21年度] 他事業との連携を図ることで、事業費を抑制することが可能となったため、減額。							
[22年度] 事業の一部を他事業へ移管したことにより、減額。							